

## <高等学校家庭科における評価の工夫改善>

### 1 学習指導要領における評価の在り方

#### (1) 学習指導要領における学力

#### (2) 評価の基本的な考え方

- ① 観点別学習状況の評価を基本として、目標に準拠した評価を一層重視
- ② 個人内評価の工夫
- ③ 集団に準拠した評価については、児童生徒の発達段階などに配慮した上で、目的に応じて指導に生かすこと

#### (3) 小・中学校における評価の改善

- ① 観点別学習状況の評価を基本とし、その実現の状況を三段階で評価する。
  - ・ 観点別の評価基準の作成
  - ・ 指導計画に対応した評価計画の作成
  - ・ 評価方法や評価場面の工夫
- ② 評定も目標に準拠した評価となる。
  - ・ 観点別学習状況の評価を評定に総括すること。
- ③ 個人内評価を工夫する。
- ④ 指導と評価の一体化を図る。

### 2 高等学校における評価の改善

従前…観点による評価を十分踏まえ、「目標に準拠した」5段階評価による評定

今後…基本的には従前からの考え方を維持

- ・ 教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を総括的に評価すること。
  - ・ 4つの観点による評価を十分に踏まえて評定をすること。
- 具体的な評価基準を作成し、客観性や信頼性を欠くことのないように留意すること。

**これまでの「目標に準拠した評価」を今後一層適切に行うことが求められている**

#### <評定について>

- ① 各教科・科目の評定は、各教科・科目の学習に対してそれぞれ5段階で表し、5段階の表示は、5, 4, 3, 2, 1とする。その表示は、学習指導要領に示す各教科・科目の目標や内容に基づき、学校が地域や生徒の実態に即して設定した当該教科・科目の目標や内容に照らし、その実現状況を総括的に評価する。
- ② 一部の観点到に偏した評定がなされることのないよう、4つの観点による評価を十分に踏まえて評定をすること。
- ③ 5段階の評定が個々の教師の主観に流れて客観性や信頼性を欠くことがないように留意し、各学校では、各教科の評価の観点及びその趣旨を十分に踏まえ、具体的な評価基準を作成すること。

### 3 家庭科における評価の工夫改善

#### (1) 家庭科（普通教科）で育てる能力や態度

- ① 人間の健全な発達と営みを総合的にとらえる。
- ② 家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解する。
- ③ 生活に必要な知識と技術を習得する。
- ④ 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

(2) 評価の観点と観点の趣旨（普通教科「家庭」）

観点	観点の趣旨
関心・意欲・態度	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断	家庭や地域の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を付けている。
技能・表現	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。
知識・理解	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。

<具体的視点>

**関心・意欲・態度**

- ・ 衣食住の生活、家族・家庭、消費生活などの家庭や地域の生活について関心をもっているか。
- ・ 進んで学習活動に取り組んでいるか
- ・ 意欲的、積極的に課題解決をしようとしているか
- ・ 知識と技術を進んで活用しようとしているか

**思考・判断**

- ・ 衣食住の生活、家族・家庭、消費生活などの家庭や地域の生活について見直して課題を見付け、その解決を目指して学んだ知識・技術を生かしたいくつかの方法を比較検討し、意志決定をするなどの工夫し創造する能力

**技能・表現**

- ・ 衣食住の生活、家族・家庭、消費生活をよりよくするための基礎的・基本的な技術の習得
- ・ それらの技術を応用発展させ、その成果を適切に表現できるかどうか
- ・ 調査・観察などの技術や適切にまとめて表現できる技術などを身に付けているか

**知識・理解**

- ・ 人間の発達と生活の営みとのかかわり、家族・家庭の意義、家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識などについて断片的にはなく実際の生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか

(3) 家庭科の学習指導と評価の工夫

- ① 指導計画に対応した評価計画の作成
- ② 一人一人の生徒が意欲的に取り組む題材や指導の工夫
- ③ 意志決定能力や問題解決能力の育成
  - ・ 各項目での問題解決的学習
  - ・ ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の充実
  - ・ 課題をどのようにとらえているか
  - ・ 課題解決を目指して計画を立てて主体的に学習活動を進めているか
  - ・ 自分なりに工夫したり自分の考えを生かした取り組みをしているか
  - ・ 学んだ知識と技術を生かして課題解決をしているか

(4) 評価の方法の工夫

## 観点評価の方法例

関心・意欲・教師の観察記録，生徒の自己評価，毎時間の取組状況  
態度作品の提出状況，レポートや作文等

思考・判断レポート

作品等

技能・表現教師による実習中の技術の評価

作品等

知識・理解ペーパーテスト，実習ノートや学習プリントの記入状況  
レポート等